



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

岡山県で初めての「ふるさと名物応援宣言」 が発表されました

～「宿場町矢掛の街並み観光」応援宣言～

経済産業省は、昨年8月10日に施行された改正地域資源法に基づき、市町村による「ふるさと名物応援宣言」を推進しています。今般、岡山県矢掛町において、岡山県で初の応援宣言が発表されましたので、お知らせいたします。

【今回、発表された応援宣言の内容等】

(1) 宣言した自治体

岡山県矢掛町(法人番号:8000020334618)

(宣言日:平成28年3月18日 中国地域第5号宣言)

(2) ふるさと名物

宿場町矢掛の街並み観光

(3) 内容

旧山陽道の宿場町として栄えた矢掛には参勤交代で往来する大名が宿泊した「矢掛本陣」、本陣の補佐的な役割を果たした「矢掛脇本陣」が当時の姿のまま健全に残されている。本陣・脇本陣の両方が国指定の重要文化財となっているのは全国でも唯一矢掛町のみ。

人と物資の交流拠点となっていた「矢掛本陣」「矢掛脇本陣」を核とした宿場町矢掛の街並みを活用するとともに、近年では古民家を活用した施設の整備により、景観の保全と賑わい創出に向けた取り組みを行い、観光による地域の活性化を目指す。

(詳細は「別紙1」参照)

【参考】

「ふるさと名物応援宣言」の概要

多様な事業者を巻き込み、地域ぐるみの継続的な取組を通じ、「地域ブランド」の育成・強化を図り、地域の売上や雇用の増大、地域経済の好循環につなげるため、市町村に「ふるさと名物応援宣言」を行っていただくことを推進しています。

宣言に沿った地域の中小企業者の商品開発等の取り組みや、「ふるさと名物(地域資源を活用した商品・サービス(群))」をテコに地域活性化を担う人材育成支援等について支援策が措置されています。

(詳細は「別紙2」参照)

【問い合わせ先】

中国経済産業局産業部経営支援課

担当:長尾、腰本、中田

TEL:(082)224-5658(直通)

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

別紙 1



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

往時の繁栄を今に
伝える宿場町

やかげ
岡山県矢掛町
が応援するふるさと名物

宿場町矢掛の街並み観光

◎ 矢掛本陣 ◎ 矢掛脇本陣



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

やかげ
岡山県矢掛町

地域の
プロフィール



岡山県

岡山県の南西部にある矢掛町は、温暖な気候に恵まれた地域であり、主な産業は稲作を中心とした農業です。

また、矢掛町は歴史のまちでもあり、弥生時代の遺跡、古墳時代の古墳、奈良時代に活躍した右大臣・吉備真備ゆかりの地など多くの歴史的・文化的遺産があります。

特に、江戸時代には交通の便が良かったため旧山陽道の宿場町・矢掛宿として重要な役割を果たし、参勤交代の大名行列をはじめとして人の行き来が多く、人と物資の交流拠点となっていました。

このような歴史的背景を活かして、近年では観光による地域活性化に取り組んでいます。



やかげ観光大使やかっぴー

◆宿場町矢掛の街並み観光

本陣・脇本陣がある約800mの街並みは、地域の人々が守り続けてきたため現在も当時の面影を残しています。

本陣、脇本陣は一般に公開しており、本陣はボランティアによって当時の様子の説明を聞くことができます。街並みを散策する際にも、ガイドの案内によって見どころを逃さず観光できます。

矢掛の宿場まつり「大名行列」等の地域が主体となった四季折々のイベントも、この街並みを舞台に開催されます。

また、街並みには老舗の和菓子屋があり、江戸時代と変わらぬ製法で作られている「ゆべし」等を召し上がっていただくことができます。

このように、人と物資の交流拠点となっていた本陣・脇本陣を核とした宿場町矢掛の街並みを活用するとともに、近年では、古民家を活用した施設の整備により、景観の保全と賑わい創出に向けた取り組みを行い、観光による地域の活性化を目指しています。



矢掛の街並み



宿泊施設 矢掛屋



交流施設 やかげ町家交流館

活用する
地域資源

◆ 矢掛本陣・矢掛脇本陣

参勤交代で往来する大名が宿泊した本陣，本陣の補佐的な役割を果たした脇本陣が当時の姿のまま健全に残されており，国指定の重要文化財となっています。

本陣・脇本陣の両方が国指定の重要文化財となっているのは全国で唯一矢掛町のみです。どちらの建物も規模が大きく建築の質も優れ，付属室にいたるまでよく保存され，希少価値が高いと言われています。

また，宿札や古文書が多く残されており，当時の様子を知るための貴重な資料となっています。

この本陣・脇本陣が今も当時の風情を残す矢掛の街並みの核となっています。



矢掛本陣 上段の間



矢掛本陣 欄間



矢掛脇本陣 路地

町の 取り組み

◆矢掛本陣マラソン全国大会

毎年2月第3日曜日に開催される矢掛本陣マラソン全国大会では、2,000人以上のランナーが歴史情緒あふれる旧山陽道の街並みを駆け抜けます。大会の運営には、多くのボランティアが参加しており、また、沿道からの声援が大きいことが、ランナーから大変好評です。



◆矢掛町ブランドの認定

矢掛町には、豊かな自然と歴史という恵まれた環境で育まれた多くの農産物や観光土産品があり、これらの特産品を矢掛町ブランドとして認定しています。

矢掛本陣には、大河ドラマで有名になった篤姫が江戸へ向かう道中で矢掛本陣に宿泊したことが分かっていますが、その際に購入した「ゆべし」が矢掛町ブランドに認定されている等、本陣ゆかりの品物も多くあります。



ゆべし

地域の 取り組み

◆矢掛の宿場まつり「大名行列」

毎年11月第2日曜日には、旧山陽道の街並みを、総勢約80名からなる絢爛豪華な大名行列が、当時の姿そのままに、「したーに、したに」の掛け声とともに進みます。

地域の商工業者を中心とした実行委員会が、昭和51年の洪水被害からの復興のシンボルとして始め、矢掛町を代表するまつりとして3万人以上の観客で賑わいます。

ふるさと物産市、飛脚駅伝大会等多くのイベントも行われます。



◆観光ボランティア

本陣には、観光ボランティアが常駐し、見学に来られた方をご案内しています。

観光ボランティアによる当時の様子や建物の特徴についての丁寧な説明によって、本陣に関する知識が深まります。





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

やかげ
岡山県矢掛町



矢掛町に残る本陣・脇本陣をはじめとした往時の風情を保つ街並みは、地域の人々が誇りを持ち一体となって守り続けた地域の重要な資源です。

また、近年、街並みの魅力を増すため古民家再生事業を実施し、観光における拠点施設の整備を行いました。

これを契機に観光資源を活用した地域の活性化に積極的に取り組んでいるところであり、その成果によって街並みに賑わいが生まれつつあります。

このような背景を踏まえ、本町の一連の観光資源を組み合わせた矢掛の街並み観光を「ふるさと名物」として応援し、より一層の町の活性化につなげることをここに宣言します。

平成28年3月18日 矢掛町長 山野通彦

地域資源活用促進法の一部改正

(平成27年7月7日成立・同8月10日施行)

別紙 2

地域資源活用促進法の概要

地域の「強み」となり得る産地の技術、農林水産物、観光資源等の地域資源を活用して商品やサービスの開発等に取り組む中小企業者等を総合的に支援を行い、地域経済の活性化を図ることを目的として、平成19年制定、今般（平成27年7月）改正。

法改正により地域産業資源を活かした「ふるさと名物」をテコに地域活性化を図る

改正のポイント

- ① **市区町村**に積極的に関与してもらい地域資源を活用した**地域ぐるみの取組を促進**
- ② **小売・ネット業者等**との連携による販売力強化、
- ③ **体験型観光**への支援追加

① 市町村の関与の強化

ふるさと名物応援宣言

・市町村において地域を挙げて支援を行う「ふるさと名物」を特定し、「ふるさと名物応援宣言」として全国に発信。宣言に係る地域ぐるみの取組みを重点的に支援。

市町村の積極的関与を法定

・都道府県の地域資源の指定に対する積極的な提案。
・地域資源を活用した事業活動を支援するための融資など。

② 販売力強化

地域資源活用支援事業計画の創設

・一般社団・一般財団・NPO法人が取り組む販路開拓・情報発信等にも支援拡充。
・消費者ニーズを把握している小売・ネット事業者との連携強化。

③ 支援対象の拡充

農業体験や産業観光等を新たに支援対象に追加

・地域資源を活用した支援対象に、地域への集客に繋がる体験型観光事業を新たに追加。

ふるさと名物応援宣言



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

- ・地域産業資源を活かした「ふるさと名物」をテコに地域活性化を図るため、市町村による「ふるさと名物応援宣言」を推進します。
- ・応援宣言は、次の事項を記載した宣言を作成し、自治体のHP等で発信
 - ① 応援する「ふるさと名物」の名称（テーマ）
 - ② 「ふるさと名物」の背景・ストーリー、地域プロフィール
 - ③ 「ふるさと名物」の内容
 - ④ 地域（自治体）による具体的な支援策

地域中小企業等

市町村等

宣言地域への支援

補助金による取組の推進

「ふるさと名物応援宣言」の対象となっている地域資源を活用した中小企業者の認定事業計画に対し、「ふるさと名物応援補助金」を優先的に採択。

地域の人材育成支援

中小機構が実施する「ふるさとプロデューサー育成事業(OJT研修)」に自治体職員等を優先参加。ふるさと名物をテコに地域活性化を担う地域人材の育成を支援。

域外への情報発信

各市町村の応援宣言をミラサポ等で一元的に発信。

ふるさと名物応援宣言一覧

中国地域でこれまでに公表されたふるさと名物応援宣言は次のとおり。

No	公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
1	H27.12.3	島根県津和野町	歴史と文化が息づく「つわの栗の里」	・つわの栗
2	H28.1.15	鳥取県湯梨浜町	東郷湖～ゆりはまWalking Resort～	・東郷湖をめぐるウォーキングツーリズム ・東郷湖周辺のウォーキングツーリズムに関連する加工品群
3	H28.2.10	鳥取県倉吉市	レトロとクールが調和・融合するまち	・キャラクターグッズ ・レトロ&クールツーリズム
4	H28.2.22	広島県三次市	江の川水系がもたらす自然の恵み	・鮎・鵜飼 ・霧の海 ・常清滝 ・ピオーネ ・三次の酒(日本酒・どぶろく)